

自治会報

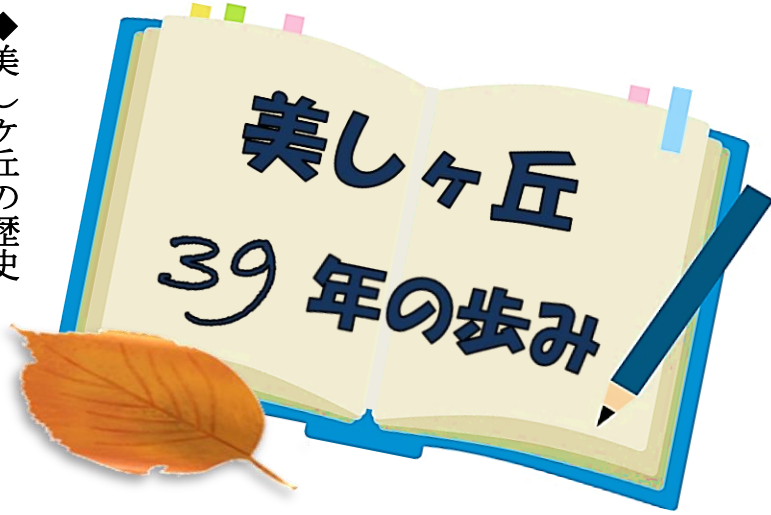


美しヶ丘

発行者 美しヶ丘自治会広報部

お知らせ
ホッとさろん美しヶ丘
9月～12月
お休みします

夏まつりが中止となりましたので、今号は美しヶ丘の歴史特集を組みました。



◆美しヶ丘の歴史

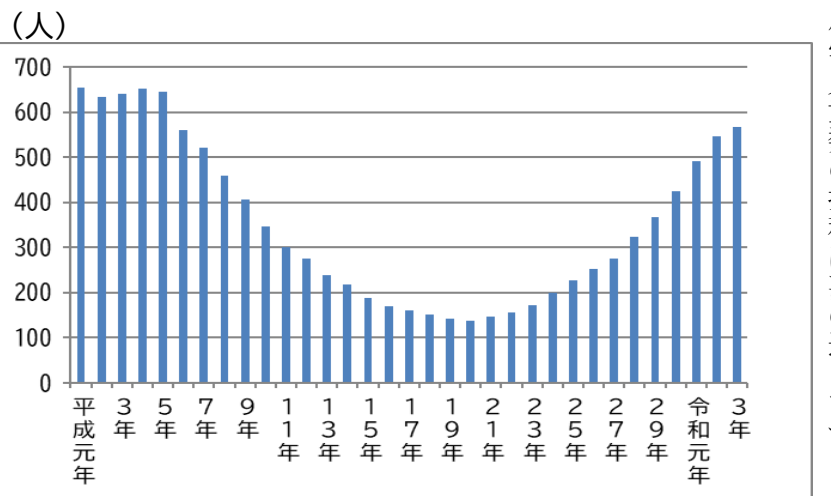
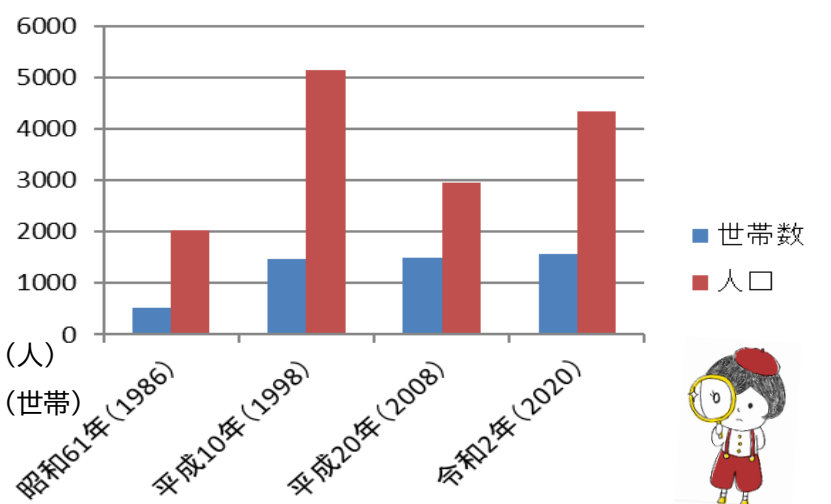
町内の最高峰明神山（標高273.6m）の麓に、この溶岩台地が開発され、現在の美しヶ丘ニュータウンができました。

住宅構想は、昭和52年2月に計画され、昭和55年フジタ工業と東急不動産により開発が進められました。昭和57年5月の分譲開始時の計画は、総面積605,000㎡、戸数1437戸、人口5752人とされました。

美しヶ丘の地名の明神、太子の由来

は、送迎大神宮（ひるめだいじんぐう）があったとされる明神山の「明神」と、飛鳥時代に聖徳太子が通ったとされる送迎道（ひるめみち）があったことに因んで「太子」と名付けられました。大阪国分と王寺町を結ぶ道として、畠田の送迎（ひるめ）から明神山を超える道が利用されており送迎越え（ひるめごえ）と呼ばれていました。（王寺町史から）

美しヶ丘の人口の推移



小学児童数の推移は次の通りです。

住宅開発が進み人口が増加するにつれ、王寺駅へのバス路線が開設され、ニュータウン内に小学校や幼稚園、公園、駐在所が設立し、スーパー等商店も開店し、インフラ整備が進み、利便性が高まってきました。王寺南小学校は、昭和62年に工事着工し、平成元年に王寺小学校から分離し開校され、転校生の受け入れが始まりました。開校当時から児童の人数も増えましたが、少子高齢化の影響で児童の人数が一旦減少しました。しかし、その後スカイヒルズが完成し、再び児童数が増加し、子どもの声が聞こえる活気あふれた街に戻ってきています。

昭和60年1月、美しヶ丘自治会が発足し、文化福祉センターで第1回設立総会が開催されました。

初代自治会長は、萬木一治氏で、平成11年までの15期にわたりご尽力頂きました。

その後、塩崎徳弘氏（16期、17期） 横山奉典氏（18期、19期、20期、21期） 沖優子氏（22期、23期、24期、25期） 森俊一郎氏（26期、27期、28期、29期） 荒井隆昭氏（30期、31期） 山元剛氏（32期、33期、34期、35期） 上平隆巳氏（現会長） となっております。

歴代会長の地道な努力が今日の自治会活動につながっています。歴代会長をはじめ役員の皆様の長年のご尽力に感謝致します。



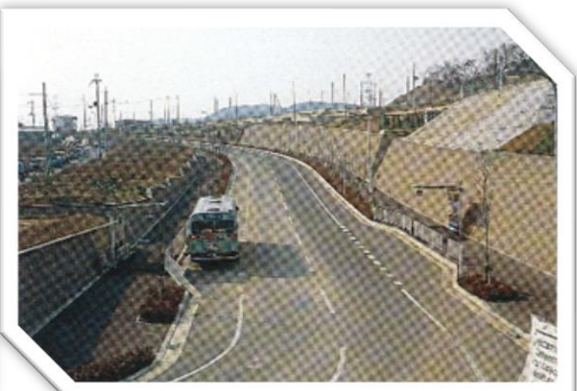
写真提供 王寺町地域整備部



昭和58年 畠田公園



平成12年 明神4丁目バス停前



昭和58年 明神1丁目バス停前

◆夏まつりの歴史

平成2年第1回美しヶ丘夏まつりが開催されました。
 以和貴会、各支部、各班長、子供会、王寺南中学校のブラスバンド部、各種クラブのご協力により、盆踊り、夜店が並び老若男女が楽しいひと時を楽しみました。
 ある年では急に大雨となり、テントに雨水が溜まったり雨宿りしたり大変な一日になりましたが、今ではこれも楽しかった思い出です。
 今回はコロナの影響で連続2回中止となりましたが、来年こそはコロナが収束し、夏まつりが開催されることを願うばかりです。
 その時は皆さん一緒に楽しみましょう。



◆美しヶ丘の空き家状況

平成27年の調査では、住居戸数明神1～4丁目 964戸で空き家は18件 空き家率1.9%
 住居戸数太子1～3丁目 560戸で空き家は19件 空き家率3.4%となっております。

王寺町では現在調査中で、最新の結果は、令和4年4月に王寺町から発表される予定です。
 近年は少子高齢化が進み、庭木の繁茂による近隣住民とのトラブルや相談件数が増えてきています。

○防災倉庫の充実に協力を

オリンピックも終わり、コロナ感染者の急増が耳目をにぎわした今年のお盆休み。一方では日本各地での長雨による甚大被害は、私達に地域防災に向けた日頃の備えの大切さを教えてくれました。

ところで、わが美しヶ丘に3つ目の防災倉庫が太子3丁目公園に設置されたこと、ご存じでしたでしょうか？自主防災会では今後、各倉庫に必要な物資や用具の備蓄を進めらうので、地域の皆さんからもアイデアを頂きながら防災物資の寄付もお願いし充実を図ってきたいとのこと。
 公園で遊ぶ子供たちにも身近に感じられる防災倉庫。私たち住民にとって防災意識を今一度醸成する契機になればと思います。



太子3丁目公園 防災倉庫

○達磨寺で南小生徒が郷土を体感！

美しヶ丘の住民なら誰もが知っている「達磨寺」。最近では聖徳太子の愛犬キャラで寺を訪れる方も多いためか。寺の起源は聖徳太子が自ら刻んだ達磨像を祀ったのが始まりらしく、こんな歴史スポットが私達の身近にあるとは実にうれしく誇らしい限りです。

7月14日、この達磨寺を郷土学習の一環として王寺南小学校6年の生徒達が見学に訪れました。観光ボランティアさんの丁寧な説明により、楽しく充実した時間を過ごせたという事です。生徒たちが郷土の名跡を知ることを通じて、地域の歴史や自然に興味を持つきっかけとなればと願っています。



達磨寺にて郷土学習



○明神山参道、只今お色直し中！

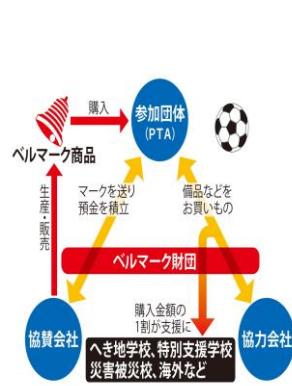


昨年、「葛城修験」関連で日本遺産に認定された「明神山」。今や月に約1万人が登山を楽しんでいるという隠れた人気スポットになっていきます。やはり町内外からの高齢の方の登山が多いとか。今、コロナ禍で巣ごもり状態を強いられる中、元気な高齢者達にとって健康維持はもちろん、手近かで自然に触れ合える一石二鳥のオアシスといえるのではないのでしょうか。

そんな健康スポットも昨今、参道の一部で路肩の風化等により危険箇所が目立つことから、登山の安全のため町が一部通行止めを行い12月を目途に改修を進めています。
 古くは聖徳太子が参道途中の送迎峠(ひるめとうげ)を越え、難波京との間を行き来したとか。そんな往時を偲ぶことができる歴史遺産。早く安全安心な参拝道として完全復活してほしいですね。

ベルマーク運動 参加のお知らせ

王寺南小学校のPTAでは、学校教育活動の実施や施設設備の一助としてベルマーク運動に参加されています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により回収の自粛をされましたが、本年度より活動を再開させていただきます。



ベルマーク収集について

ベルマークは数えやすいように適当な大きさ形に切って回収箱へ入れてください。
 ・丸いマークは周囲を残して四角にして切る。
 ・小さなマークは周囲に余裕を持たせて2センチ角程度に切る。
 ・つながったマークは切り離さず全体を一枚に切る。
 ・ピンなどに付いているマークはカッター等で切り離す。
 切り損なっても半分以上残っていれば有効です。
 ベルマークの回収箱は、本年度より『スーパーヤオヒコ美しヶ丘店』に設置されています。皆様ご協力をお願いします。